

みなかみ

議会だより

第8号

平成19年8月1日発行
(2007年)

群馬県利根郡みなかみ町



谷川岳山開き

(上) 安全祈願祭
(下) 登山を楽しむ人々

定例議会 (平成19年6月13~21日)

…2

平成19年度補正予算 一般会計・特別会計 — 3

町政を問う 一般質問7人 — 4

総文・産観
常任委員会 現地調査 — 12

議会の動き — 15

6月 定例議会

このように
決まりました。

13日から21日までの9日間の会期で開催されました。
人事諮問1件、条例改正6件、補正予算3件、その他議案3件・発議3件、報告7件が提出されました。審議の結果、すべての議案を原案通り可決しました。
7人の議員が『地域活性化』『行政改革』『財政問題』『福祉施策』その他町の課題等について一般質問をしました。



議案

— 討論の —

あつたもの

● 賛成

町道路線認定

● 反対

穂苅清一議員

当初から地元の人たちの反対運動があり、統廃合小学校ができた過程での設計等に不備が多いので賛成できません。

● 賛成

阿部賢一議員

国道一七号の現状進路に面した地権者が、この時期に協力してくれることになり、今後の登下校の安全性から賛成したい。
(賛成多数可決)

● 賛成

町健康福祉施設「湯テルメ・谷川」条例の一部改正

● 反対

穂苅清一議員

町内の中学生及び身体障害者に対し、回数券や前売り券を値上げするも

のです。収入増を図るのではなく、もっと無駄な支出をやめて解決すべきと考えます。

● 賛成

林喜美雄議員

利用収入等は減額の結果であり、管理運営上、やむを得ないものと思います。
(賛成多数可決)

※以下は全会一致で可決

● 町税条例の一部改正

● 町都市計画条例の一部改正

● 辺地に係る総合整備計画の変更

政治倫理の確立のためのみなかみ町長の資産等の公開に関する条例の一部改正

● 町営温泉センター三峰の湯」条例の一部改正

● 町ふれあい・やすらぎ温泉センター条例の一部改正

● 指定管理者の指定(みなかみ町湯掛管公園)

管理者…ゆびそ塾

●建設機械整備(除雪ドーザ五七級)購入契約の締結

発議

●町議会委員会条例の一部改正(二項目)
(全会一致可決)

●最低賃金の引き上げを求める意見書提出

— 討論 —

● 賛成

穂苅清一議員

わずか一一万円くらいで一ヶ月を暮らさなくてはならないことを考えると、大幅な引き上げを求めることに賛成します。
(全会一致可決)

19年度補正予算(6月補正)

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	7,823万円	企画費(山岳資料館用立体模型購入費)／440万円 障害者福祉費(更生医療給付費)／360万円 児童福祉費(臨時保育士賃金)／115万2千円 農業総務費(農業共済事業事務費負担金)／907万7千円 林道事業費(明川地区桜の里林道開設重機借上げ料)／80万円 観光振興費(観光案内備品購入費)／100万円 都市計画費(都市計画図作成委託料)／1,900万円 教育費(除細動器借上げ料)／52万2千円 新治統合小学校建設事業費／3,521万9千円	128億6,123万円
特別会計 国民健康保険	301万2千円	保健衛生普及費(通信運搬費)／96万円 予備費／180万1千円	25億6,377万9千円
特別会計 老人保健	2,410万9千円	国件支払基金負担金等超過交付分返還金／2,061万1千円 予備費／349万8千円	28億1,963万円

— 討 論 —

◇一般会計(第1号)

反対 原澤良輝議員

山がすぐそこにあるのに、なぜ山岳模型が必要なのか疑問です。

道路がない町道が認定されましたが、手続き上は無効と考えます。

賛成 山田庄一議員

主な歳出は農林水産業費、土木費及び教育費です。

新治統合小学校建設事業は継続費の年度間補正、児童が安全な状態で開校を迎えるために必要です。

賛成 阿部賢一議員

除細動器(AED)の学校への設置リースの予算計上があり、町を支える子供達の生命を守る予算です。安心安全な学校運営のために賛成です。

(賛成多数可決)

◇国民健康保険特別会計(第1号)

反対 穂苅清一議員

定率減税が昨年半減、本年全廃になり、国保税算出基礎となる住民税等が増税されました。

一億円の繰越が発生しましたが、国保運営協議会で減額も視野に入れ議論すべきと考えます。

賛成 前田善成議員

保険給付費が増加しているのに対し、保険税収入が伸びず国保運営に苦慮する中で、基金取り崩しを最小限にとどめようとする補正内容で、適切と認められます。

(賛成多数可決)

◇老人保健特別会計(第1号)

(全会一致可決)

報 告

- 平成十八年度一般会計継続費繰越計算書
- 平成十八年度一般会計繰越明許費繰越計算書
- 平成十八年度国民健康保険特別会計繰越明許費繰越計算書
- 平成十八年度介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書
- 平成十八年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書
- 財団法人新治農村公園公社の経営状況
- 町土地開発公社の経営状況

諮 問

●人権擁護委員候補者の推せん

左記の人が推せんされました。

関 信司氏(布施)

橋爪清修氏(師)

(全会一致同意)

KEY WORD

【AED】(自動体外式除細動器)

心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。



7人が質問を行いました。

主な内容

- 鈴木 幸久 ①群馬県知事選挙への町長の対応は ……5
- 島崎 栄一 ①月夜野カントリーへの出資は適切な判断だったのか …6
- 林 一彦 ①バイオ燃料による
人に環境に優しい町づくりを ……7
②町の消防体制
- 原澤 良輝 ①中学校卒業までの医療費無料化の拡充 ……8
②公益通報者保護条例の制定
③戦争を肯定するアニメーションDVD教材を
使用しないように
- 山田 庄一 ①夢のある町づくり
湯原温泉街の活性化とその他事業の評価 ……9
- 前田 善成 ①未来ある町づくりのためどのような事業を行うのか …10
- 穂苅 清一 ①多重債務者救済のための相談窓口設置 ……11
②国民健康保険証取り上げの中止
③団体への補助金カットの見直しは

県知事選において具体的に 支持を決断した経緯は

町長 玉原道路建設など懸案事項の実現に不可欠と判断



現在は徒歩でのみ連絡が可能
(玉原越の現地踏査の様子)



問 町長のウェブサイトに、「玉原道路の建設が群馬県知事選挙の私の主要テーマ」と書いていますが。

答 町長 結論から申し上げますと、熟慮の結果「玉原道路」の必要性を理解し、建設に意欲を示した自由民主党公認・大沢正明氏を支持することを決断しました。

まさにこの問題は国民的な問題として、この流域住民の生命・財産を守る意味からも、そして将来の危険に対し、この危機管理体制というものはしっかりと国としてやるべきものと思っております。小寺知事には合併、豪雪対策等大変お世話になり感謝していますが、玉原道路の他にも重要な案件が数多くあり、町の再生のためには政権与党の力が極めて大事であり、断腸の思いで決意しました。

問 政権与党を頼るといいますが、現在の自民党と公明党は今後も安泰なのでしょうか。

答 町長 この参議院選挙でどうなるかとい

う話ですが、選挙の機会に町の問題点を訴えて、それを広く国民に知らせて政治の場で議論してもらい、またとないチャンスであると思っています。

問 合併特例債の支援策、公共事業の推進を図るとき、国・県それぞれ大事な相手であり、町長としては中立が正しい選択なのでは。

答 町長 中立ということもあるのですが、やはり町を何とかしよう、財政再建と懸案事項を実現していこうと取り組んでいるわけですから、やはり訴えるべきはしっかりと訴えていくのが正しいのだらうと思います。

町の責任者でありますし、その選択にあつては色々な方法があるかも知れませんが、私自身が自分の態度を鮮明に出して、町のために一生懸命やっていくのが一番良いと思っています。

月夜野CCへの一〇〇〇万円 出資は適切な判断だったのか

町長 民事再生なら出資金は権利消滅、お詫びしたい

問 今年度も沼田市・片品村は二〇〇〇円、川場村は二四〇〇円、昭和村は一七〇〇円で敬老バスカードが買えます。当町は二九〇〇円出さないと買えません。

今年度も沼田市・片品村は二〇〇〇円、川場村は二四〇〇円、昭和村は一七〇〇円で敬老バスカードが買えます。当町は二九〇〇円出さないと買えません。

なぜ他の市町村で補助ができるのに、当町はできないのでしょうか。上手くやっている町と財政危機に陥っている町との差は、「金の使い方」から出てくるのだと思います。

年に行われた旧新治村の一〇〇〇万円の出資には疑問があります。

月夜野CCは平成十三年・十四・十五年度と損失を出し続け、負債は七八億円もあり、企業の継続に「重大な疑義が存在していました。このような状態の企業に出資しても、出資金が失われるだけではないでしょうか。

弱者にバス運行は不可欠ですので、今後はバス路線の存続と利用促進に取り組んでいきます。

月夜野CCは平成十三年・十四・十五年度と損失を出し続け、負債は七八億円もあり、企業の継続に「重大な疑義が存在していました。このような状態の企業に出資しても、出資金が失われるだけではないでしょうか。

平成十五年に民事再生の決断をしていけば、新治村の一〇〇〇万円は失われなかったはずですが。

月夜野CCは平成十三年・十四・十五年度と損失を出し続け、負債は七八億円もあり、企業の継続に「重大な疑義が存在していました。このような状態の企業に出資しても、出資金が失われるだけではないでしょうか。

平成十五年に民事再生の決断をしていけば、新治村の一〇〇〇万円は失われなかったはずですが。

月夜野CCは平成十三年・十四・十五年度と損失を出し続け、負債は七八億円もあり、企業の継続に「重大な疑義が存在していました。このような状態の企業に出資しても、出資金が失われるだけではないでしょうか。

平成十五年に民事再生の決断をしていけば、新治村の一〇〇〇万円は失われなかったはずですが。



民事再生を申請中の月夜野CC

に雇用場の創出にと大きな期待が寄せられました。

入込み状況は平成二・三・四年と順調に伸びていきましたが、五年には三万人を割り、一〇年以降は二万人を割る状況になりました。

原因は経済不況にありますが、他のゴルフ場は乗用カートを導入して経費削減を図り、利用料金値下げが断行されたのに、この対応が出来なかったのが大きな要因でした。

この状況下、新治村及び議会に「設備投資資金支援の陳情書」が提出され、平成十四年十二月議会において条件付きで採択されました。限度額二〇〇〇万円以内とし、今回限りとするものでした。

乗用カートが導入されれば利用客も増えると判断し、臨時議会に一〇〇〇万円を出資する補正予算を提案、議決の執行を行いました。

二年間は三二%の増客効果が現れましたが、平成十七年度から再び減少し始めました。そこで、本年三月に月夜野CCは民事再生の申し立てを行いました。

成立すると、新たな経営者の事業と雇用は継続されますが、町出資の七〇〇〇万円は権利消滅となり、町民皆様に深くお詫びを申し上げるところです。

村の出資は経営を四年伸ばしただけで平成十五年に民事再生をしていれどとの意見ですが、民事再生はスポンサーがいなければ成立せず、まして時期とタイミングが難しいものです。

事業継続により月夜野CCは十五年以降四年間で、ゴルフ場利用税が二千万円余、雇用面で三億三千万円余、さらに消耗品費や燃料費等、地域に相当額が支払われています。

今回の民事再生で事業継続と雇用が図られ、地域の伸展に寄与されることを願っています。

二年間は三二%の増客効果が現れましたが、平成十七年度から再び減少し始めました。そこで、本年三月に月夜野CCは民事再生の申し立てを行いました。

成立すると、新たな経営者の事業と雇用は継続されますが、町出資の七〇〇〇万円は権利消滅となり、町民皆様に深くお詫びを申し上げるところです。

村の出資は経営を四年伸ばしただけで平成十五年に民事再生をしていれどとの意見ですが、民事再生はスポンサーがいなければ成立せず、まして時期とタイミングが難しいものです。

事業継続により月夜野CCは十五年以降四年間で、ゴルフ場利用税が二千万円余、雇用面で三億三千万円余、さらに消耗品費や燃料費等、地域に相当額が支払われています。

今回の民事再生で事業継続と雇用が図られ、地域の伸展に寄与されることを願っています。

バイオ燃料活用し 人に環境に優しい町づくりを

町長 環境配慮のまちづくり、真剣に取り組みたい

問 当町は「水と森の防人宣言」をし、「森を育み生命を運ぶ利根川源流の町」を謳っています。そこで、遊休農地などに菜の花を咲かせ、菜種油を精製する。家庭や旅館等からの廃食用油を回収してバイオマス燃料化を図り、スクールバスや



環境保護施策への活用が期待される（菜の花畑）

給食配送車などに使用する、資源循環型社会の構築に取り組み、人に環境に優しい町づくりをしてはどうでしょうか。

答 町長 地球温暖化が議論される今日、まさに自治体の施策として取り組むべきです。

環境に対する町民意識の向上と、環境に配慮した町づくりのイメージアップにつながり、町全体で取り組む意義は極めて大きいです。真剣に取り組んでいきたい。



火災には初期の対応が重要（消火栓）

答 町長 町と同期消火に当たる体制を作ったかと思いましたが、消防団役員、消防委員会、また消防役員会にも提案させていただき、話し合いを持ちたい。

■町の消防体制 体制強化に女性やOB等起用しては

問 みなかみ町消防団は、平成十八年四月に発足し、分団数三〇、団員実数六三〇名で組織され、旧三町村ごとに方面隊を構成する団に生まれ変わりました。

団員の消防に対する意識・技術も、団長を始めとする皆さまのお陰で大変高まってきていると聞いており、一町民として頼もしい限りです。しかし、昼間の火災時に勤務地や仕事の関係から出勤できない団員も多

く、この対策として、消防団OBで構成する「消防予備隊」や、女性で構成する「女性消防団」などを設置してはどうでしょうか。

また、住民で構成する隣保班単位くらいの「防災会」をつくり、毎年定期的な消防団員を先生役とした消火や防災訓練を行い、初期消火だけでもできるようにすれば、未然に防げるケースも多くなると思いますが、いかがでしょうか。

原澤 良輝議員

戦争肯定するDVD教材

町は採用せぬよう

教育長 使用しないよう指導する

問 戦死した「靖国」の英霊が現代に現れ、「靖国神社へ行こう」と誘い、日本の戦争は「自衛のため、アジア解放のため」と語りかけるDVD

Dを見せたあと、説明を加えながら討論し、「日本を守るためには戦争するしかなかったのではなか」と結論を導き出す教材を、教育の場で使わ

ないよう求めたい。

答 **教育長** 町でも使用しないよう指導します。

問 町には地下飛行機工場や発電所導水路など、中国人を強制連行して働かせた戦争遺跡があり、教育に活かしてほしい。

■子どもの医療費無料化
中学校卒業まで拡大を

問 子育ての大きな不安に子供の病気があり、お金の心配なく子供を病院に連れて行きたいという願いは切実です。

「子育てなら、みなかみ町に」と言われるようになり、若者に魅力ある町にするため、町でも中学校卒業まで医療費を無料化しよう求めたい。

答 **町長** 町では中学一年生の誕生日まで無料化しており、県内でも上位にあります。中学校卒業まで対象にした場合、約千九百万円必要になると考えられます。

福祉医療費助成等は県施策として県内一律に行われるべきであり、中学校卒業までの医療費無料化を実現したい。

制定をするよう求めたい。

問 企業や行政機関の不正や違法を内部告発して、隠された不正を社会的に明らかにし、マスコミでも取り上げられ改善もされました。

しかし、勇気ある内部告発をした人達に対する報復もあとを絶ちません。

正当な内部告発は民主主義社会の健全な発展に欠かすことができず、町でも町政に関わる違法・不正を許さないことを基本として、職員も含めた町公益通報者保護条例の

答 **町長** 県では十市町村が相談窓口、4町村が保護取扱要綱を制定しました。町では自治体基本条例制定を組込み中であり、その中で検討したい。

不法な職務命令に拒否権を保証する外部委員会等で、職員の公益通報相談体制が必要です。町では通報をうける総合窓口を早急に設置したい。



町内にも戦争にまつわる遺跡が存在する（後閑・稗田地区）

■内部告発者の保護

町でも公益通報者保護条例の制定を

温泉街の再生・振興策 どのように進めるか

山田 庄一 議員

町長 「環境、サービス、満足」納得いただけるよう



諏訪峡遊歩道（上：諏訪峡大橋付近／下：笹笛橋）

問 観光の再生、特に湯原温泉街と駅前再開発は、町づくりの大きなウエイトを占めていると思いますが、その構想について伺いたい。

答 **町長** 「湯原・鹿野沢振興会」という地元中心に、個性あふれる町づくりが取り組まれています。

町では平成十六年から「まちづくり交付金事業」を導入し、「安らぎとふれあいの空間づくり」「観光スポットの構築」「円滑な交通の確保」の三つの

方針を掲げて進めていきたい。

問 三つの方針は観光客の誘致に欠かせない事業計画であると思いますが、財政危機の中で大きな事業でもありません。費用対効果を十分精査した上で進めなければならぬと思います。

遊歩道については、笹笛橋の架け替えも進められていますが、楽しんで歩く道にしては、危険が多過ぎます。また温泉街の（仮）水上峡公園構想ですが、大

金をかけて造った施設が効果を生まない例は数多く見受けられますので、水紀行館を拠点に、笹笛橋からもみじ橋を経て戻る周遊コースを、桜の季節から秋の紅葉まで、自然を生かした公園づくりをすれば、十分「観光スポット」になると思いますが。

答 **地域整備課長** まちづくり交付金事業として、水上駅から水紀行館まで歩いて回れるまちづくりをしようというのが主題です。その中核の施設が水上峡公園です。ここを拠点に地域の人や観光客が、イベント等を通してふれ合うことで活性化が図れればと思います。

この事業の終了後には、町並み環境整備事業によつて、温泉街の路地裏まで整備が出来ればと考えています。

答 **町長** 現状の温泉街を見ると、廃屋があり満足できる空間ではありません。

「環境、サービス、満足」と、お客様が納得できる三大温泉地として復活させたい。

問 現在、観光客の交通手段は車が主ですが、JRとタイアップして誘客を考えていますか。

答 **町長** 現在、早大後藤教授と連携の中で、レールパーク構想が示され、JR高崎支社の皆さんと協議しているところです。

いずれにしても、町づくりの基本は最小の支出で最大の効果を上げるということを念頭に進めていきます。

前田 善成議員

未来ある町づくりのため どのような事業を行うか

町長 改革プラン等作成し適切に評価していく

問 防人の町誕生から一
年が過ぎ、町民の皆
さんに分かりやすい、新
年度予算や新規事業の査
定方法を提示し、納得し

てもらうことはもちろん
ですが、財政難を理解し、
早期退職された方々の思
いに応えるためにも、事
業の見直しを考えた評価

方法を明示し、広域面積
を考慮した上で職員規模
に見合った町づくりにつ
いて考えを聞かせて下さ
い。

また、未来の生活設計
を考える上で収入や雇用
の安定、保障は不可欠で
すが、財政再建のために
行った人件費削減や施設
統合、民間委託を行った
後の各施設の職員の待遇
や保障について、考えを
聞かせてください。

また、年度事業内容の
見直しを行いながら、指
定管理者の指定を行いま
す。

問 当町の人口規模と同
等な町と比べ、職員
数が倍と言われますが、
公の公平を加味した人員
削減してほしい。また行
政体自体を縮小し、一人
暮らしの老人宅を町営住
宅にし、その貸代で街中
のリゾートマンションに
移り住んでもらうような
コンパクトシテイ的な考
えがあるか伺います。

町のように雪溝にする考
えはありますか。

答 **町長** 融雪には重油
や電気を使用してい
ますが、井戸水などを利
用できるように、現在掘削
しています。

問 民間委託が行われて
いる給食センターの
食中毒やアレルギー病の
対応について伺いたい。

答 **学校教育課長** 栄養
士や学校、給食セン
ターの所長と協力し、指
導と対応をしています。

問 資源リサイクルセン
ターを有効利用する
ため、職員の方々の考え
るように第三セクターで
行うのではなく、独立さ
せ自立させたらどうで
しょうか。

答 **農政課長** 生ゴミ等
を利用する関係で、
町が事業主体にならない
といけません。



資源リサイクルセンターも町運営施設の一つ

答 **町長** 税源の乏しい
地方自治体では、そ
の構造を変えて対応する
他なく、町としても行財
政改革大綱や集中改革プ
ランを策定し、千以上あ
る事業の中から、三十事
業を選定して評価を行
います。
また、事業内容や活動
内容、経費や人件費を考
慮し、受益負担率を考え
事業の拡大・縮小・廃止
や見直し等を行いたい。

答 **総合政策課長** 特殊
事業を加味し、適正
な人員配置を見極め、勸
奨制度等により、人口規
模と同等の職員規模にし
ていきたい。
なお、支援・財政面等
の問題もあり、コンパク
トシテイ的な構想は現在
考えておりません。

問 町づくり構想の融雪
事業の中で、湯の町
みなかみとして、ニセコ

多重債務者救済のため 専門の相談窓口設置を

町長 現状では町が措置をとるのは困難

問 町内の貧困と格差の広がりで、町税滞納も発生。失業、病気、ケガなどで不安定な生活となり、サラ金などで多重債務者となった町民のための専門窓口を設置して、救済対策に本腰を入れて

はどうでしょうか。

答 町長 消費者問題の相談窓口を常設している市町村もありますが、町では住民からの相談は九四%を他の相談機関へ紹介しています。法律問

題は、町の顧問弁護士などに紹介していきたい。現状では、専門的知識、財政、人材等で、多重債務者に救済措置をとるのは非常に困難です。



定期的に法律相談が開かれている（社会福祉協議会）

国民健康保険証 取り上げによる患者の重症化

防いでほしい

問 国保料（税）滞納世帯への制裁（国保証の取り上げ）で、病院に行きたくても受診できず、重症化するケースがあります。町民が命を落とすことを防いでほしいが、町長はどのように考えていますか。

き適正に行っています。特別な事情もなく一年以上滞納している世帯主には、被保険者証の返還を求め、資格証明書を交付しています。減免措置もありますが、保険税を納めないと制度が成り立ちません。今後も滞納対策をしっかり進めたいと考えています。

答 町長 国保税の賦課は、課税資料に基づ

団体補助金カット 見直しが必要

問 基幹産業である観光事業を始め、各団体への補助金カットは、二年連続で二億一三三〇万円となり、補助金ゼロになった団体も多いです。これに対する町民の批判の声に耳を傾け、見直しすることが必要だと思いますが。

答 町長 町の厳しい財政状況を乗り切るために、削減もやむを得ないと判断し、皆さんに協力していただいています。補助金検討委員会でも審査して、廃止を含めて抜本的見直しをしました。「集中改革プラン」に基づき、今後あらゆる経費の削減に取り組む決意です。

現地調査

平成19年5月23日に藤原小学校を、6月14日に(仮称)新治統合小学校を現地調査しました。

報告：委員長 根津公安



総務文教常任委員・教育委員会合同会議



▶旧校舎と廊下で間仕切り
▲藤原小学校を校庭より

藤原小学校 (5/23)

藤原小学校の関係者の方々より学習の環境整備について要望があり現地調査を行い、教育委員会と協議の結果、大方の中で改善がなされました。



(仮称)新治統合小学校(6/14)

定例議会において、進入路の拡幅に伴う用地取得費が計上されていることから、六月十四日、(仮称)新治統合小学校建設用地の現地調査を行いました。

全体の工事は、計画どおり進んでおり、大きな特色として教室と廊下の間仕切りのないオープンスペース、図書館は地域の方々にも利用できるよう工夫されています。進入路については、以前の計画では問題点がありましたが、周辺地権者のご協力をいただき拡幅及び付け替えが可能になり、児童の安全や交通対策が十分確保することができました。



▲現在使用している新巻小学校校入口
◀仮称・新治統合小学校建設現場

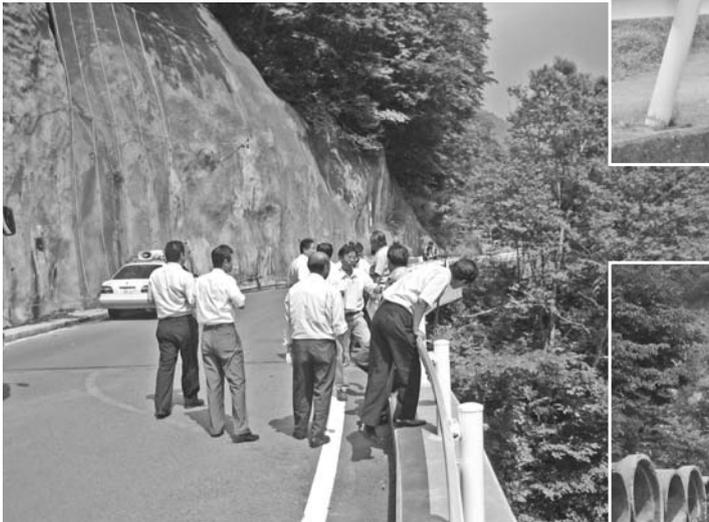
現地調査

平成19年6月27日に土木事務所と町内
現地調査を実施しました。

報告：委員長 久保秀雄



◀ 県土木事務所より説明を受ける
▼ 西沢（淵尻地区）



▲ 照葉峡
▶ 大穴跨線歩道橋



町内には、住民要望や、また行政の責任において早急に改修・改善しなければならぬ危険な箇所が数多くあります。

六月二十七日、産業観光常任委員会は多くの議員参加を得て、町職員、県土木事務所の協力をいただき、町内の危険箇所等の現地視察を実施しました。

視察後、意見交換を行い、県土木事務所と連携を取りながら、議会・町と力を合わせ、懸案事項の解決に向け努力していくことを確認しあい終了しました。

みなさんからの 請願・陳情 審査結果一覧

No.	受理年月日	件名	提出者	付託委員会	審議結果	
請願	8	19. 6. 5	後期高齢者医療保険制度の大幅見直しを求める	前橋市上小出町2-36-1 群馬県社会保障推進協議会 代表 野上恭道	厚生	趣旨採択
	9	19. 6. 5	「最低賃金の改善を求める意見書」提出について	前橋市本町3-9-10 群馬県労働組合会議 議長 吉崎照二見	産業観光	採 択
陳情	1	(継続審査分)	下津地内の水路拡張工事のお願い	下津3252 高橋金作 ほか4名	産業観光	継続審査
	5	19. 5.28	町道舗装のお願い	布施86 布施区長 阿部長一郎 ほか1名	産業観光	継続審査
	6	19. 6. 1	後閑地区、町営住宅入口道路を拡幅のお願い	後閑684-11-304 後閑町営住宅地区住民代表 宮下 廣 (賛同者39名)	産業観光	採 択

矢野義夫前事務局長は、四月一日付で退職いたしました。長い間大変お世話になりました。



(事務局長)
林 耕平

四月一日付で異動があり、議会事務局局長が変わりました。新しい事務局局長は次の方です。よろしくお願ひします。

人事
異動

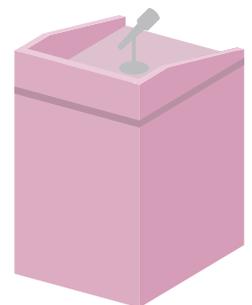
議会だより編集委員会

- ◆委員長 河合 幸雄
- ◆副委員長 森下 直
- ◆委員 林 一彦
- 原澤 良輝
- 島崎 栄一
- 本多 秀律

議会を傍聴してみませんか？

- ◆9月の定例会は、6~14日を予定しております。

—お問い合わせは—
議会事務局まで
☎ 62-2111(内線 611)



議会の動き

*平成19年4月～6月

4月	1(日)	みなかみ町成人式(カルチャーセンター) 竹改戸小松八幡宮春季例大祭
	2(月)	教職員辞令交付式(中央公民館)
	3(火)	利根沼田広域観光センター運営検討委員会
	5(木)	町内保育園入園式(各保育園)
	6(金)	三重院長生薬師祭典
	9(月)	町内小学校入学式(各小学校) 町内中学校入学式(各中学校) みなかみ町体育協会総会(中央公民館)
	10(火)	町内幼稚園入園式(月夜野北・にいはる) 議会だより編集委員会
	11(水)	町内保育園入園式(下牧・月夜野・なぐるみ) 利根郡議長会定例会議(文化会館)
	12(木)	若栗幼稚園入園式
	13(金)	みなかみ町婦人会総会(カルチャーセンター)
	16(月)	総務文教・産業観光合同常任委員会
	17(火)	不納欠損処理委員会
	18(水)	行財政改革特別委員会
	20(金)	議会運営委員会・臨時議会 月夜野は一べすと総会(月夜野改善センター)
22(日)	北向観音法要式典	
24(火)	公衆衛生協会新治支部総会(長生館)	
25(水)	みなかみ町ゲートボール協会春季大会 (月夜野ゲートボール場)	
26(木)	高原千葉村協力会総会(高原千葉村自然の家) みなかみ町更生保護女性会月夜野支部総会 (カルチャーセンター)	
27(金)	みなかみ町文化協会総会(カルチャーセンター) みなかみ町身障連総会(保健福祉センター) 月夜野ホテルを守る会総会(カルチャーセンター)	
28(土)	後閑地区ほ場整備竣工式(後閑集落センター) 武尊山芽ぶきまつり	
29(日)	全日本カヌースラローム競技会(水紀行館)	

5月	1(火)	大峰山山開き 月夜野菊花同好会総会(中央公民館)
	8(火)	総務・産観常任委員会
	14(月)	水上民宿ペンション連合会定期総会 (まんてん星の湯) 利根郡体育協会総会(文化会館) 利根郡自治功労表彰 前議員8人(〃)
	15(火)	みなかみ町俳句大会(新治支所)
	16(水)	水上料理飲食店組合定期総会(ホテル聚楽)
	17(木)	利根郡定例議長会(文化会館) 水上寮保養所協議会定期総会(去来荘)
	20(日)	みなかみ町消防ポンプ操法競技会 (北部グラウンド) みなかみ町工業祭(アイチテクノプラザ) 三国国道清掃作業
	21(月)	沼田17号線バイパス期成同盟監査 土地開発公社理事会(役場5階会議室)

5月	22(火)	全国町村議長・副議長研修会(東京) 栃木県壬生町議会より行政視察に来庁 みなかみ町商工会青年部通常総会(ホテル辰巳館)
	23(水)	みなかみ町ゲートボール協会町長杯大会 (月夜野ゲートボール場) 総務常任委員会視察(藤原小学校)
	25(金)	みなかみ町商工会第2回通常総会 (月夜野改善センター) 農業委員会交流会(猿ヶ泉温泉蔵やしき)
	26(土)	利根沼田農業協同組合第15回通常総代会 (沼田JAビル) ガールスカウト入団式及び総会(水上公民館)
	27(日)	県民スポーツ祭オープニング大会(県営)
	28(月)	広域議会・消防委員会(文化会館) みなかみ町ボランティア協会総会 (保健福祉センター)
	29(火)	行財政改革特別委員会 みなかみ町軍恩総会 水上温泉旅館共同組合青年部定期総会(きむら苑) 水上防犯協力会総会(藤屋)
	30(水)	厚生常任委員会 議会全員協議会
	31(木)	議長・事務局長研修会(東京)

6月	1(金)	議長・事務局長研修会(東京)
	3(日)	群馬県利根沼田支部ポンプ操法競技会 平標山山開き(平標山)
	6(水)	議会運営委員会
	7(木)	議会だより編集委員会 みなかみ町利根川適正利用推進協議会 みなかみ町傷痍軍人会同妻の会総会 みなかみ町有害鳥獣対策意見交換会(藤屋)
	8(金)	第36回関東地区高等学校ホッケー大会開会式 (カルチャーセンター)
	11(月)	湯原温泉街振興会定期総会(ひがきホテル)
	12(火)	水上交通安全会総会(水上公民館)
	13(水)	第4回みなかみ町議会6月定例会(開会日)
	14(木)	第4回みなかみ町議会6月定例会(一般質問)
	15(金)	常任委員会開催
16(土)	小学校総体ホッケー大会(ホッケー場) 情報フェスティバル開会式(カルチャーセンター)	
18(月)	行財政改革特別委員会	
20(水)	暴力追放推進協議会の理事会・定期総会 (沼田警察署)	
21(木)	第4回みなかみ町議会6月定例会(閉会日)	
24(日)	利根沼田和太鼓の会発足記念合同演奏会 (カルチャーセンター) 武尊山山開き(武尊神社登山口)	
26(火)	利根沼田地方総合開発協会理事会(県民局) 国道17号バイパス期成同盟総会(〃) 平和行進激励	
27(水)	産観・県土木合同調査及意見交換会	



し か むら よう すい 四ヶ村用水を守って40年

四ヶ村用水組合

委員長 高橋 清志 (師)

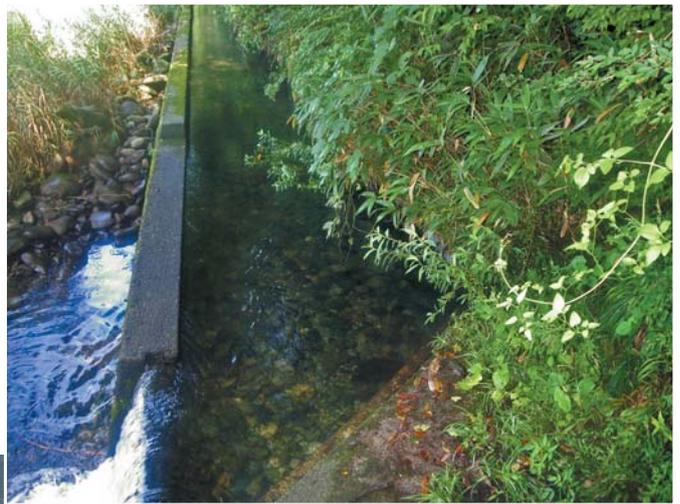


四ヶ村用水は、慶安四年、沼田藩主真田信政が新田開発に力を入れ、利根川本流から奈女澤で取水し、上牧村・下牧村・後閑村・師村に至る、総延長三里十八町となる用水で、四ヶ村堰と名付けました。

これによって、百五十町歩の水田をつくり、増収六百石を見込んだものです。当時沼田藩は禄高三万石でした。

時は流れ昭和二十六年七月以降、旱天続きで水不足となり、特に上真庭天水田に亀裂が酷く、稲の出穂が危ぶまれ、当時の古馬牧村長真庭武氏及び真庭区長、上真庭代表佐藤本太氏等が、当時用水委員長の櫛淵金兵衛氏に、何とか四ヶ村堰の水を分けてほしいと再三に亘り申し入れがあり、水引人足を増員したり、分水個所に水番を付け、粗朶引きを実施してようやく天水田に通水し、役人水を実施しました。

昭和二十九年、真政区



月夜野地区の農業にとってまさに「生命線」である



より四ヶ村用水組合への加入申し入れがあり、昭和三十年より正式に加入となり、現在は五区の行政区で管理運営をしています。

当時の水利権の水量は十三個でしたが、どうしても少ないため、村長を先頭に各委員強力に増量

運動を行い、東京電力(株)に交渉した結果、五十個の水利権を獲得することが出来たと記されています。(一個の水量は毎秒一立方尺です)

その後、用水の漏水が下牧地内で特に酷くなり、昭和四十二年に上牧都合沢より師の堰末まで、全

り、昭和四十三年に工事着工以来十余年にわたる期間を要しましたが、昭和五十六年の春にようやく全線完工し、通水することが出来ました。

その後は利根川上流ダムの洪水調整等もあり、代々の堰番の努力によって、昔ほど難儀もなく通水することが出来ました。

平成十年度には、奈女沢川の下を通るサイホン工事を実施して流れが良くなって喜んでいた矢先、平成十二年九月上旬、町北部の上牧地内に集中豪雨が降り、四ヶ村用水に土砂が大量流入し、大被害を被り、その災害復旧に多くの人力と六〇〇万円余の経費を支出しました。災害復旧に関係した各位に感謝いたしております。

今後でもできる限り用水を守り、後世に引き継いでいかなければならないと責任を感じております。

※今回の『あとかぎ』は、休載いたします。